

令和5年度 第1回理事会議事録

日 時 令和5年5月13日（土）13時00分～13時40分

場 所 北海きたえーる 大研修室

出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、印藤智一、丸山道博、齊藤幸治、石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、奥山 諭、浅野泰弘、藤原 正、伊山和宏、鎌田勝広、川口智将、田中 淳、酒出 修、山内孝夫、奈良孝伸、佐見洋治、杳沢幸一、山口隆義、辻井淳一、室谷祐子、須田正毅、名畑五朗

1 開 会（総務委員長）

※理事36名中24名の出席により、本日の理事会は成立する事が報告された。

※開会前に評議員会資料議事次第の協議事項に「役員を選任」の項目を追加する修正が説明され、資料差し替えが行われた。

2 会長あいさつ（生島会長）

新年度がスタートし、初めての理事会となる。昨年1年を振り返ると新型コロナウイルスの対応に追われる1年となったが、主管協会や関係各位のご協力のもと、無事に主催事業を開催することができたことに感謝申し上げる。また、令和4年度はVリーグホームゲームが札幌・旭川・函館で開催され、ヴォレアス北海道がV2リーグを制し、チャレンジマッチで勝利して見事V1昇格を果たし、サフィールヴァ北海道もV2リーグ第3位と活躍してくれた。女子チームのデンソーエアリービーズ・アルテミス北海道とともに今後の活躍を期待しており、当協会も新たなバレーボールファンの獲得と、競技人口拡大を目指すため、より一層の支援に努める。

本日の理事会では、評議員会に提出する事業報告及び決算報告の審議、新年度役員の推薦などについて審議いただくのでよろしく願います。

3 議事録署名人の選出

議事録署名人に生島会長の外、川口理事、浅野常任理事の2名が指名された。

※ 規約第34条に基づき、会長が議長を務める。

4 協議事項

（1）令和4年度 事業報告及び決算書類等承認について

評議員会資料に基づき、各委員長が委員会事業について、総務委員長が令和5年度一般会計決算・特別会計決算について説明し承認された。

なお、主な説明内容及び質疑等は、以下のとおり。

①事業報告書類（各委員長）

・基金管理の取扱いや法人化に向けた検討など協会運営の諸課題について正副会長会議を3回開催し協議を行った。（総務委員長）

- ・大会運営報告では、参加申込がなかった9人制総合選手権大会やビーチ大会を中止したほかは、計画どおり開催された。
高校新人大会においては、大会参加料で大会運営を行うことを基本とし経費削減に努めた。
(競技委員長)
- ・大阪府で開催されたA級審判員資格取得審査講習会に釧路の阿部氏、札幌の尾上氏が受講し、A級候補の認定を受けた。
日本協会カテゴリーレフェリーとして、9人制N1に嶋貫氏、6人制S1に佐藤美里氏、上総氏が認定されたほか、令和4年度も北海道大会やV1・V2リーグに審判員・JVIMSを派遣した。
(審判委員長)
- ・小学生サマーキャンプが中止となった。
中体連が主管する北海道ブロック中学生指導者研修会は、中体連全道大会開催での開催となっており、留萌市で開催された。
指導者養成講習会関係では、北海道公認コーチ認定講習会を各地区協会の協力のもと開催され、感謝申し上げます。(指導普及委員長)
- ・中学強化はJOC選抜、高校強化では国体選抜を中心に、強化育成基金や北海道スポーツ協会の競技力向上事業補助金を活用し強化事業を実施した。(強化委員長)

②決算報告書類(総務委員長)

・一般会計決算報告書

収入の部では繰越金が202万7千円となったほか、高校賦課金の増額や、Vリーグチームとの業務委託契約に伴う受託収入を売掛金として見込んだ結果、収入合計が2,016万4千円となった。

支出の部では新型コロナに伴う大会参加料の減やリモート会議開催による総務委員会・会議費・旅費の減などにより、支出合計が1,648万1千円となり、収支差引 368万2千円を令和5年度に繰越す。

・特別会計決算報告書

第2回理事会で承認を得たとおり、基金管理の適正化を図るため、特別事業等基金残高を0円、財政調整基金残高を900万円として決算し、強化育成基金に移行した。

強化育成基金では、審判員育成事業、国体少年強化対策事業及びビーチ連盟活動支援として計210万6千円を繰出し、1,871万7千円の繰越となった。

(質疑)

一般会計決算の収入の部のVリーグ受託収入と支出の部の事業費大会参加料の内容について、具体的に教えて欲しい。

⇒収入の部のVリーグ受託収入については、Vリーグ3チームとの業務委託契約に基づく収益であり、その内容は、大会で使用するPC等の機材償却費である共通経費と大会役員人件費等を業務委託料として、V1・V2の1日当たりの基準単価に基づき、開催日数を乗じて得た金額である。

また、支出の部の大会参加料は大会経費を大会参加料で賄ってもらうことを基本とし、道協会事務局に収めていただいた参加料を、決算書に記載の参加料収入で受け、全額を大会参加料として開催地協会に支出しているもの。

(要望)

これまでの各種会議の議事録や各委員会の計画等の情報発信の仕方に工夫が必要ではないか。解りやすい情報発信には資料掲載も必要だと思うし、各委員会の事業計画についての評価も必要だと思うので、工夫いただくよう要望する。

(2) 令和5年度一般会計補正予算について (総務委員長)

令和4年度第4回理事会で承認された令和5年度一般会計予算について、令和4年度決算承認に伴い、収入の繰越金が368万2千円となり、法人設立準備に向け基金に頼らず、一般会計で安定的な運用を図るため、支出の予備費に275万円を措置する補正予算を提案し承認された。

(3) 役員選任について (総務委員長)

4月15日に渋谷副会長が議長となり、評議員と理事の数は原則 1対2とすることや、評議員経験者には理事も経験してもらうなどを基本的な考え方とした、評議員・理事選考ガイドラインに基づき、評議員10名を選定し、理事候補者21名を選考し評議員会へ提案することが承認された。

また、監事については、引き続き須田監事をお願いするとともに、退任の申し出があった名畑氏の後任に日高協会の高橋氏を監事候補者として評議員会に推薦することが承認された。

5 報告事項

(1) 日本協会関連 (理事長)

男女の日本代表チームが始動し、5月末から日本で開催されるネーションズリーグから国際大会が始まるが、パリオリンピックに向けて活躍を期待したい。また、JVAでは「暴力撤廃アクション」が提唱されているので、北海道内での暴力・暴言の撲滅に協力いただきたい。

(2) 各委員会関係

- ・次回第2回理事会は9月16日(土) 北海きたえーるで開催する。(総務委員長)
- ・今年度クラブ連盟40周年となり記念大会の開催を予定している。(杓沢理事)

6 その他

なし

7 閉会

議事録署名人

会 長

生島典明

議事録署名人

浅野 泰弘

議事録署名人

川口 智将